

「佐渡金銀山」保存・活用行動計画
令和6年度事業点検・評価調書

4-Ⅱ-4

4-Ⅱ-4

| | | | |
|-----------|---|------|----------------------|
| 章 | 第4章 世界遺産登録に向けた来訪者の受入体制整備 | 取組項目 | バリアフリー機能の導入 |
| 節 | Ⅱ. ガイダンス機能・ガイド体制の充実 | 事業主体 | 佐渡市世界遺産推進課 |
| 事業(施策)名 | 4 バリアフリー機能の導入 | 関連団体 | 県文化課、佐渡地域振興局(地域振興担当) |
| 事業実施期間 | H28～R6 | | |
| 事業概要 | <p>【事業目的】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 各種施設や説明媒体におけるバリアフリー機能の導入により、様々な来訪者への利便性向上を図る。 <p>【事業内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 説明媒体に展示や音声ソフトなどのバリアフリー機能を導入する。 <p>【本計画終了時点のゴール】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 累積的な目標値は設定できないが、施設等の整備の際にはできるだけバリアフリー機能の導入を図るようにする。 | | |
| これまでの取組実績 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 史跡整備基本計画において、バリアフリー機能の導入に関する基本的方針を記載し、個別事業の実施前に具体的なバリアフリー機能の導入についての協議・検討を行った。 ○ 令和4年度には、坑内における説明媒体の充実をはかるため、QRコードを読み取ることで音声ガイド(日・英)を聞くことができる「佐渡金銀山音声ナビ」を整備した。 | | |
| 事業計画と実績 | <p>【R6年度計画】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 相川上町地区の街歩きの拠点施設として位置付けている「旧深見家住宅」におけるバリアフリー機能の導入について検討する。 <p>【R6年度実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 旧深見家住宅におけるバリアフリー機能の導入を検討したが、歩行者動線や間取りの都合により、導入は見送ることとなった。 | | |
| 事業評価 | <p>【ゴールに対する計画終了時の達成度】</p> <p>[A・B・C]</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇ 本事業は、令和6年度末までの定数的な目標は設定していないが、一定の成果が得られていることから、B評価とした。 | | |
| 課題 | <ul style="list-style-type: none"> ■ 鉱山遺跡という特質上、今後も整備箇所によってはバリアフリー導入が困難な場所もある。バリアフリー機能の代替えが可能かどうか、また代替え方法をどのように整備すべきか検討する必要がある。 | | |

A: 予定を上回る進捗
B: 概ね予定どおり
C: 遅れている。